

発行:「街かど談話室」まつばらんど 横浜市保土ヶ谷区宮田町1-8-1 川元ビル1階  
発行責任者:古垣直久



## 12月歳時記

月詠子

師走(しわす)、和風月名の中で誰もが知り、年の瀬の代名詞のような言葉です。幼い頃は、師走は先生までもが走り回るほど忙しい月なんだと理解してました。師走とは先生ではなく僧侶を指す言葉だと知ったのは最近の事です。ご多聞に漏れず、言葉の語源や由来には諸説あるのが常です。十二月は僧侶(師)を迎えてお経を読んでもらう月だったので、師が馳せる月と言う意味の「師馳す」が転化したという説が有力のようです。忙しいのは僧侶だけではありません。「師走女房に難つけな」年末の女房は大掃除やおせちづくりに忙しく、身だしなみなど構っていられません。そんなユーモラスな諺も師走ならではです。

師走の風物詩は沢山あります。子ども達には何と云ってもクリスマス、江戸っ子には浅草の羽子板市、コラーヌ愛好家にはベートーヴェンの第九、お年を召した方には開戦記念日、歌舞伎ファンには京都南座の吉例顔見世興行、筆まめさんには年賀状、食いしん坊には餅つき。

ベートーヴェンの「第九」は、交響曲には珍しく合唱「歓喜の歌」が入ることによって爆発的に有名になりました。日本ではじめて「第九」が演奏されたのは大正七年、場所は



は徳島県板東町(現在は鳴門市)にあったドイツ兵の捕虜収容所だったと言われています。ウィーンでの初演から約百年後でした。「諸君、喝采を、喜劇は終わった」という臨終の言葉を残して亡くなったベートーヴェンは後年、聴力を失っていたので、どんなに客席からの歓声や拍手が大きくても、それが耳に届くことはありませんでした。でも、苦勞して完成にこぎつけたこの交響曲はるか離れた日本中を歓喜で揺るがせていることに喜んでいてほしい。

「新高山登レ二〇八(ニイタカヤマノボレヒトフタマルハチと読む)は日本海軍の太平洋戦争を語る上で、今や伝説の一文になっています。「十二月八日午前零時をもって開戦」という意味ですが、暗号ではなく、正確には隠語であり、モールス信号ではなく、電報(電文)で発信されました。当時、

## 12月の誕生花 ポインセチア



### 花言葉

「祝福する」「幸運を祈る」  
「聖夜」「私の心は燃えている」

原産地:メキシコ西部  
中央アメリカ  
開花期 10月~3月  
花の色:赤、白、黄緑、ピンク、褐色  
別名:クリスマスフラワー  
ショウジョウボク(狸花木)

潜水艦で受信できる大出力を出せる送信所は依佐美(よさみ)送信所(現愛知県刈谷市)以外ないので、潜水艦向けはここから送信されていることは間違いないのですが、全国各地にこの電報を送信したという送信所が点在するという噂話もあるそうです。ただか80年前の話にも諸説あると言われているところに神秘性を感じます。よく、アメリカ政府は日本が必ず真珠湾を攻撃すると予測していたという話を聞きますが、日本の暗号が粗末だったわけではありません。日本海軍の暗号は、暗号書で作成した暗号文を乱数表により強化していましたが、情報解析能力と機密漏えい対策の運用面では、アメリカに負けていたことになりました。日本海軍は真珠湾奇襲作戦を外務省に一切伝えていなかったというのは事実らしいのですが、このリスクの高い作戦は当時の軍事常識を超えていました。また、アメリカも日本の航空魚雷の性能を甘く見たために、ハワイ防衛は無警戒のまま十二月八日(ハワイ時間は七日早朝)を迎えました。数十年後、アメリカの公文書の機密開示が解けた時に、このあたりの真偽がまぶらかになるでしょう。ちなみに、日本陸軍の「開戦日は十二月八日である」という電文は「ヒノデハヤマカタ」でした。「ヤマカタ」は八日を示す隠語です。

さて、『十二月三十一日』は昭和初期に実在した苗字です。読み方は「ひなし」明日は新年で今年の日がない説と「ひづめ」年末で日が詰まっているから説があるそうです。いずれにしろ、師走は何かと気ぜわしく、その分、気分が高揚する節目の月です。佳い年をお迎えください。

## 相続・贈与・借地・空き家

### 不動産問題は専門家へ

十日~二十日(日曜除く) 電話無料相談受付



超高齢化や核家族化が進む中であって、自分たちで今、解決しておかなければ課題はたくさんあります。①相続で困っている②遺言書を作りたい③生前贈与をしておきたい④税金問題⑤施設入居や転居に伴う自宅処分の方法⑥地主・貸主とのトラブルの地方にある空き家で困っている等々。これらの問題に専門家が親切に応じてくれます。法定講習やセミナー開催で定評のある一般社団法人職能研修会は、弁護士、司法書士、税理士、不動産コンサルタントなどの専門家と提携しこれら幅広い問題の相談解決に当たっています。この機会にぜひご相談してみたいかがですか。

(受付) 0120-660-248

相談時間:午前10時~午後4時(日曜除く)  
一般社団法人職能研修会 電話相談室



## シリーズ 私の趣味【ダムめぐり】

今回は奥多摩にある「白丸ダム」を紹介します。多摩川水系に建設されたダムで、重力式コンクリートダムで東京都交通局の発電用ダムです。

ダムの規模は小さいのですが、このダムは環境に優しく、ダム建設によって阻まれた魚たちの遡上を可能にするための魚道があります。ダムの上からは、ダムの左岸にスイッチバック状の魚道が見えます。そこから魚のぼり始め、トンネルにつながり、「魚道出口」に繋がっています。川からの高低差237mという長い道のりです。中を見学できるので、駐車場から螺旋階段を下りて行くと、魚道のトンネル部分を見ることが出来ます。水の流れは強く、こんな速さで魚はのぼれるのだろうかと思



投稿 大川内 美樹子



## 行事回顧録(4)

まつばらんど



投稿 ビリー

十月二十八日に平均年齢六十六歳でなる横浜マジッククラブのメンバー二名をお迎えし、楽しいマジックショーを開催しました。このクラブは設立から十一年。普段は月一回例会を開き新ネタの研修や互いの練習の成果を披露しているそうです。この日は不思議な手提げ袋からお菓子やミニカーが出るわ出るわのマジック・新聞紙にこぼしたワインがなぜか紙を濡らさず消える、画用紙に書いた色とりどりの花の絵が実際の花として咲く等、鮮やかな腕前で不思議な世界を見せていただきました。コロナで本番の機会が減ったこのことで時々御愛嬌の失敗もあり来場の方も大笑い。楽しいひと時でした。

## 随想「来年に向けて思うこと」

今年もあとわずか、この一年を振り返っています。若い時は興味や関心事があれこれと溢れてきたのに、最近は何やらそれらが減ってきたように思えます。これは加齢による気力の衰えなのか、それとも「現役時代自分はよくやっていた。もう大きな成果は要らない」と思う自己満足からなのでしょうか。自問自答を繰り返しています。

そういえば、先日読んだ文章にこんな言葉がありました。「興味関心の限界は知識、情報量の限界。知識、情報量の限界は思考力の限界。思考力の限界は行動力の限界。行動力の限界は成果の限界」。これは毎日の生活において興味関心等に自分の限界を作ってしまうと、その結果として成果に大きな違いが生じてしまう...という意味だそうです。

では、この興味関心を持ち続けるにはどうすれば良いのでしょうか。常にアンテナ(いわゆる感応度)を高く広げておく必要があるでしょうし、常に疑問等を持ち続ける必要もあるでしょう。いろいろな人や本と巡りあったり、旅することにより非常に身を置くのも良い方法かも知れません。まずは手当たり次第に動いていると何か興味、関心事が引かかってくれるのかもしれない。

私は来年の日記のページに「今年は今までやった事このないことを十個やる」と書きました。興味や関心事の幅を広げようと思っています。

投稿 ビリー

宮田町松原商店街  
**ぬくぬく整骨院**  
保土ヶ谷区宮田町1-15-1 日曜定休 045-744-5006

松原商店街  
**肉のえんどう**  
045-333-6758

【投稿記事大募集】読者の皆様の投稿をお待ちしております。趣味や体験談、俳句などジャンルは問いません。ペットのお写真も大歓迎です！採用の場合はご連絡いたします。メールまたはFAXにて！直接お持ちいただいても構いません。FAX:045-459-6088

3つのどうせ  
**街かど談話室 まつばらんど**  
本誌掲載セミナーやイベントのお問合せ、お申し込みは下記まで！  
**TEL 045-459-6088**  
または ma2baland@gmail.com  
(受付時間:10:00~16:00) 水曜定休  
住所:保土ヶ谷区宮田 1-8-1 川元ビル1階  
\*開催するすべてのイベント等は、コロナ感染症対策を講じておこなっております。



発行:「街かど談話室」まつばらんど 横浜市保土ヶ谷区宮田町1-8-1 川元ビル1階  
発行責任者:古垣直久

## Withコロナで変わる生活様式

去年の一月十五日、神奈川県在住の三十代の中国籍の男性が、国内最初の新型コロナウイルス感染者として確認されました。この男性は感染が広がっていた中国の武漢から帰国後、肺炎と診断されました。これに端を発し、感染者は徐々に増え、昨年四月に一度目の緊急事態宣言が発出されました。私たちは毎日発表される感染者数に驚き、「コロナ感染に怯える日々を経験しました。街からは人の姿が消え、社会活動が止まりました。まさに去年はかつて経験したことのない新型コロナウイルスに明け暮れた一年でした。そして年が変わり今年に入って一月八日に二度目の緊急事態宣言が発令され、以降も三度目、四度目と発令され、九月三十日に宣言が解除されるまで、まん延防止等重点措置の期間を含めるとほぼ毎日が宣言下にあった印象でした。宣言解除後は感染者数も減少し今では全国合計で百人を下回る水準にまでなりました。コロナをきっかけに今まで当たり前と思われて多くの常識が激変しました。マスク生活の日常、三密を避けるあらゆる対策、人流規制、商業施設の休業・時短、学校閉鎖、在宅勤務など私たちは多くのことを経験し学習しました。



その結果、私たちは新しい価値観にも気づかされました。家族で過ごす時間の大切さ、助け合い、消費の在り方、断捨離、趣味への挑戦…。更には溢れた情報の選択と咀嚼能力の進歩もしました。

Withコロナの社会は、すべての仕組みがデジタル化にシフトされ、この現象は加速し続けるでしょう。あらゆるコミュニケーションがオンライン化され、日常生活の場面でも、仕事面でも、対面は本当に必要な部分だけになると思われます。多くの人が、一日も早く元の生活に戻ることを期待しがちですがこの傾向は不可逆的なものとなるでしょう。

専門家の間では年末から一月にかけて第六波が始まるとの予測もあります。これまでは、社会秩序やルール、周りの意見に従ってれば安全で平和な生活ができると信じてきました。そんな「安全神話」が吹き飛んだ今、一人一人が意識を新たに生活していくことが望まれます。

編集長 古垣直久

**今月のペット**  
よしかわさんちの  
あんずちゃん

- 年齢 : 8歳
- 出身地 : 愛知県
- 特技 : おしゃべり
- 性格 : 甘えん坊
- 主人の一言 : 相棒デス



## 神奈川の旧東海道を歩く(第一回)

国内旅行業取扱管理者 河内 恒雄

古来より主要街道だった東海道ですが、特に江戸幕府が開かれてからは上方との往来で更に賑やかになりました。その後時代の移りで、国道一号线として自動車が行き交う道に整備され、パイパスができて高速道路ができることでその姿も役割も大きく変わりました。でも歩けばあちらこちらに往時の姿が偲ばれるところが多く残っています。

御承知の通り旧東海道は江戸日本橋から京都五条大橋まで五三度ですが、今回は、それらを訪ねながら神奈川県内を何回かに分けて紹介してゆきます。

川崎宿 日本橋を渡った旅人は品川宿を経て、現在の県境「多摩川」をわたり川崎宿に入ります。江戸時代初期には多摩川にも何度か橋がかけられましたがその度に流され、江戸中期以降にはもう橋はかけられることなく、広重の浮世絵「多摩川の渡し」にある通り渡し船で越えていました。渡り終わった先には今も標識が残るのみですが、小豆などを炊き込んだ奈奈茶飯が大評判だった万年屋という茶店があり、東海道を行き交う人と川崎大師に参詣する客でたいそう繁盛したこのことでした。

**こぼれ話** 明治33年に発刊された「汽笛一音新橋を」で始まる鉄道唱歌の4番「梅に名を得し大森を 過ぐれば早も川崎の大師河原は程近し 急げや電気の道すくに」にある「電気」は現在の京急大師線(京急川崎・川崎大師間)の建設途上のことをつたったものですね。



## まつばらんど川柳

なぜ消える メガネと鍵のミステリー  
腹八分 残した二分で薬飲む  
味のある 字と褒められた 手の震え  
誕生日 ロック吹いて 立ちくらみ



## 「シニア世代とスマホ社会」

シニアITコンシェルジュ 安岡 伸

今、世の中がどんどんデジタル化しています。中でもスマホやタブレットなどの情報端末の進化はめざましく、多くの機種が毎年出回り、入手しても使い方がわからず困っている人が多い現状です。

年代に関係なくスマホ利用者は増え続けており、ほぼ十年前には四・四%だったものが現在は九二・八%と圧倒的な伸びで、もはやスマホは生活の必需品となりました。

スマホは本来の目的である電話機能に加えて実に多くの利用方法があり、特にソーシャルメディアサービス(SNS)と呼ばれる使い方が増え続け、ラインやユーチューブの利用者が圧倒的に多くなりました。情報手段から娯楽としての使い方が増え、電車の中では動画を見ている人が多くみられます。

加齢と共に身体能力が減少し、シニア層は行動範囲が狭くなるのは避けられませんが、最近はその補って余る存在がスマホとなつています。ネットでの買い物に加え、コンビニの支払い、バス・電車の乗り降りも現金を使わずスマホで簡単に出来るようになってきました。

また、最近では健康保険証がマイナンバーカードと合体し、スマホの中で両方が使えるようになりました。病院の窓口でスマホ装置にかざすだけで、診察を受けられる利便さです。

政府は今年十月からデジタル庁を新たに創設し、国民がデジタルの活用によってニーズにあったサービスを選択でき、誰ひとり取り残されない「人にやさしいデジタル化」を目指しています。

## シリーズ 神社仏閣巡り(第3回)

### 初詣にお勧めの神社

今年もあと僅かで大晦日。今回は新年を迎えるにあたり初詣についての情報等をご案内させていただきます。

初詣の一般的な目的は旧年の感謝を奉げるとともに新年が良い年に成る様に願掛けを社寺に行う為です。

基本的には自分の住まうエリアの氏神様に初詣を行った上でこの一年間、自らがご加護を授かりたいと思う社寺に詣でるのが宜しいかと思えます。



横浜で一番人気の初詣先は川崎大師。やはり一年を無事過ごしたい願いから、弘法大師様による厄除けのご神徳を得られることが人気の要因だと思います。

相模國一之宮である寒川神社もあらゆる悪事や災難を取り除き福をもたらすということで人気があります。もう少し横浜の近場では、横浜の守り神、関東のお伊勢様と称される伊勢山皇大神宮とその近くにある成田山横濱別院(延命院)をセットで詣でる方も多ようです。この場合、天照大神様と不動明王様に\*



**シニアでも簡単!**

**大人気! 安岡 伸の スマホ入門講座**

**12/17(金) 10:30~12:00 予約制**

～ 講義内容 ～  
スマホの基本操作いろいろ

LINEの使い方・ネット検索など

受講者の声

- 楽しかったので、次も予約したい
- 分かり易かった、自身がないので、また通いたい

料金: 初めての方無料  
リピーター500円

先着5名様限定!

**不動産買い取ります!!**

- ・ ご近所に知られずに売りたい
- ・ 古家を解体せずに売りたい
- ・ 早く現金化したい

地元の不動産屋さん  
神奈川県知事(3)26793号  
株式会社 テイルウィンド

横浜市西区浅間町4-349-3 まつばらんど別館  
**045-620-0248** お電話ください!

**脳を動かそう 四文字熟語**

□ 竜点 □ 物事の最も大切なぶぶんのこと

断 □ □ 壁 非常に差し迫った危機的状況

(正解は来月号で)

投稿 坪庭 大輔

\*詣でることで幸先の良いスタートが切れそうです。  
「まつばらんど」近くにもお勧めの初詣先がございます。それは横浜市内で最も由緒の深い神社と称される保土ヶ谷の神明社です。ご祭神は天照大神と豊受大神で伊勢神宮の内宮・外宮と同じです。ご神徳は厄災消除、家内安全、五穀豊穣、商売繁盛と申し分ありません。どうぞ良い年をお迎えください。